



兵庫県日本ロシア協会 ～映画で学ぶロシア文化～

ニキータ・ミハルコフ監督作品

12人の怒れる男

「12 (двенадцать)」(2007) 160分 (字幕有)

不朽の名作「十二人の怒れる男」をロシア版にリメイクした傑作。ソ連崩壊後の現代ロシア社会が抱える価値観の混乱、多民族国家が孕む根深い偏見を鋭く浮き彫りにする。

チェチェン人の少年にロシア人養父殺しの容疑がかかった。集まった陪審員たちは有罪と決めつけ、審議の余地なしと思われた。12人の陪審員のうち1人が無罪の可能性を主張したことで、審議は二転三転。「人が人を裁くこと」の難しさが陪審員12人の人生を背景に描き出される。

3月15日

(土)

13:30～16:30

場所:

神戸市教育会館

201号室

J R・阪神「元町」駅(東口)より

鯉川筋北へ徒歩10分

参加費

会員 500円

会員以外 700円

(資料、ロシアンティー付)

申し込み先:

メール

roshiagodaisuki

@yahoo.co.jp

電話

080-8536-5683

(メールを使えない方の

み: 電話受付時間

10:00～18:00)

当日参加もOK!